

大阪大学図書館報

Vol. 7. No. 4/5. October. 1973

原本礼讃

信多純一

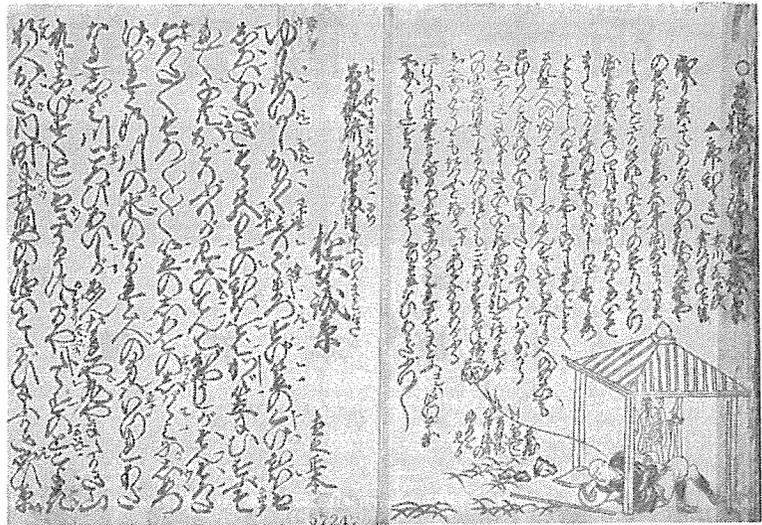
私達国文学を研究する者が、日頃他分野の方からも羨ましがられる事柄に、原本に比較的容易に接し得るといふ一事がある。作者自筆本や作者手沢本、初版本等々を手にする機会は、確かに外国文学研究の人に比して多いであろう。中世・近世あたりの写本や刊本であれば、研究者でも座右に備えることはあながち不可能ではない。近時とみに増えつつある一般の愛書家を交えて、これらの収集を競い合い、古書価の高騰はいちじるしいものがある。価格の点はともかく、現物の払底ぶりは顕著で、書痴の群がる古書展初日の奮闘のさまは、滑稽を超えて壮絶をきわめると聞いている。

それにつれて、最近では複製本の濫発を見る。印刷技術の変化と人件費の値上がりがあり、翻刻よりも容易に、かつ安易に複製本（フィルム化も含めて）を世に送り出している。一方、今まで主流を占めていた活字印刷は徐々に難しいものになりつつある。とりわけ、活字の古態のものやルビ等の多いものは敬遠される。こうした状況下では、それなりの対応が必要となるであろう。翻刻を行なおうとするのであれば、その特性を十分に活かす方向が検討されなければならない。原本に全く忠実な翻字などはもともと不可能であるし、それは複製に任せればよい。一般読者に対する啓蒙的な立場と、研究用とでは翻刻の態度も異なるのは当然であるが、今後はそれが極端な片寄りを見せ、発行部数等もそれに伴った動きを見せるのではなかろうか。ともあれ、複製ブームにつれて、これからの翻刻は如何あるべきかといったことを、改めて問い直すべき時が来ていることは確かである。

本学文学部国文研究室には江戸期版本を集めた二つの文庫、笹野文庫及び忍頂寺文庫がある。今、前者について言えば、中世文学の研究者であった笹野堅氏旧蔵本の中、浄瑠璃本約百七十冊を収めており、古浄瑠璃二十数冊、後期浄瑠璃六十冊余の他は全て近松作品で占められている。特に稀本といつては少ないが、全体に保存が良く、近松本の豊富などところに特色がある。

こうした原本をかたわらにして研究を進め得るのはきわめて仕合せなことである。何といつてもこの種文献が一等の資料であり、書物そのものが実に多くの示唆を与えてくれる。笹野文庫本は旧蔵者の好みで美本を揃えられたようであるが、それでも初版や原裝本ともなると非常に数は少ない。元来、この種の本は多くの人の手に触れ、貸本屋の笈にもゆられていた経歴をもつものが多い。したがって表紙なども改装されたものが普通なのであるが、同文庫の一本に「遊女誠草」といふ、原の姿をよくとどめる丸本がある。元禄十六年(1703)「曾根崎心中」の評判の後をうけて、翌宝永元年その後日作として上演されたものであり、作者は近松ではない。

内容は、丸やしげという堂島新地の茶屋女が愛する男の為に一人心中を遂げ、男の父に死を以て勘当の許しを乞うという、遊女の誠を描いた作品である。そして、恩を受けていたお初の一週忌を前に、その法要を営み得ないことを心残りにして死んでいったので、周囲の者が志を果してやろうとする。曾



根崎の森で、一週忌にやって来たお初の両親と徳兵衛の朋輩でもと丁雅の長蔵が、敵の九平次に出逢い殺されようとした時、お初徳兵衛の人魂が現われ九平次を取り殺して仇を報じ、人々は故人の菩提を弔う為西国順礼を志すところで劇は終る。お初徳兵衛一週忌追善を当て込んだの豊竹座の上演曲であり、筋の上でも無理に「曾根崎心中」の世界に付会したところがある。ところで、この浄瑠璃の結びは次のようにある。「露か涙か玉の緒の、短かき夜半もほのぼのと夢は、さめてぞ失せにけり」。この作品は明治40年水谷不倒の「世話浄瑠璃大全」に稀本として翻刻されているが、この本で読む限りここが何故夢さめるで収束するのか判然としない。

ところが、笹野文庫本は大全本とは別版であり、更にその表紙見返しには掲出写真のごとき刷物が貼付されている。ここには辻堂に眠る長蔵の姿が描かれていて、その説明文に「長蔵出家をし曾根崎心中後日のゆめを見る」とある。もと丁雅の長蔵が徳兵衛達の一週忌に西国順礼を志し、折柄の雨に辻堂に宿り一眠りしようとしている旨の独白があって初めて主筋が展開されるわけで、要するに「遊女誠草」全体が長蔵の夢物語という仕組みになっていることが判る。長蔵人形の遣い手と思われる妻川喜平次が、竹島幸左衛門の口真似でこの独白を述べるのであるが、幸左衛門を真似たのは「曾根崎心中」竹本座人形浄瑠璃興行に先立って、歌舞伎の竹島座がこの事件を逸早く劇化し、座元の幸左衛門が長蔵に扮して当りを取ったことを利かしての一趣向である。この「序びらき」(一種の寸劇)の部分があって、初めて問題の結末が理解出来る。演技の世界で当時の観客には十分説明されていたのである。この一葉の持つ意味は、当時の演出を知る上でも大きいものがあると言えよう。

複製本の出版盛況の間であって、その特性を十分に活かした研究方法が確立される要がある。しかし、その本文批評をおろそかにするならば、少なからぬ問題が潜むことはこの一例を以てしても明らかであろう。出版側の良心的姿勢と、利用者側のその限界についての自覚もこれ又大切な事柄である。

かく原本の有難さをしみじみと思いつつ書架を眺めるのであるが、それにしても笹野文庫昭和26年、忍頂寺文庫昭和29年の購入以来、たえてこの種コレクションを得ないでいる空白は、何としてもさびしい。

(文学部 助教授)

図書館委員会委員名簿 (48.10.1.現在)

図書館長	守谷教授(基)	工学部	◎三川教授	岡田教授
文学部	岸畑教授 三輪教授	基礎工学部	今市教授	鈴木教授
人間科学部	甲田教授 森教授	教養部	高瀬教授	井上教授
法学部	覺道教授 矢崎教授	微生物病研究所	米田教授	豊島教授
経済学部	小泉教授 大野教授	産業科学研究所	原田教授	森本教授
理学部	藤田教授 森田教授	社会経済研究所	畠中教授	筑井教授
医学部	◎坂本教授 吉田教授	蛋白質研究所	佐藤教授	倉橋教授
医学部附属病院	蒲生教授 内藤教授	溶接工学研究所	佐藤教授	岩本教授
歯学部	山本教授 下総教授	事務局	床井局長	
薬学部	◎上原教授 柘井教授	(オフオーバー) 医療技術短大	八鹿教授	柏谷教授

(註) ◎：分館長

附属図書館豊中地区運営委員会委員名簿 (48.10.1.現在)

運営委員長	小泉教授(経)	薬学部	上原教授	柘井教授
文学部	岸畑教授 三輪教授	基礎工学部	今市教授	鈴木教授
人間科学部	甲田教授	教養部	高瀬教授	井上教授
法学部	覺道教授 矢崎教授	社会経済研究所	筑井教授	久我助教授
経済学部	小泉教授 大野教授	(オフオーバー) 医療技術短大	八鹿教授	柏谷教授
理学部	藤田教授 森田教授			

附属図書館中之島分館運営委員会委員名簿 (48.10.1.現在)

分館長	坂本教授(医)	歯学部	下総教授	猪木助教授
医学部	山野教授 吉田教授	微生物病研究所	米田教授	豊島教授
医学部附属病院	蒲生教授 内藤教授	蛋白質研究所	佐藤教授	倉橋教授

附属図書館吹田地区運営委員会委員名簿 (48.10.1.現在)

分館長	三川教授(工)	産業科学研究所	原田教授	森本教授
工学部	岡田教授 池田教授	溶接工学研究所	佐藤教授	岩本教授

学生希望購入図書

- | | |
|--|---|
| 量子力学 I (2冊)
小出昭一郎 (掌裳華房) | 有機分子構造論へのアプローチ
(現代有機化学入門1)
好野 雄 (理学書院) |
| 武藤貞一評論集
武藤貞一 (動向社) | ヘーゲル初期神学論集 I
久野 昭 共訳 (以文社) |
| トポロジーの話題から
野口 広 (日本評論社) | 歴史の哲学
W. H. ドレイ (培風館) |
| マルクス主義と分析哲学
M. コンフォース, 湯川和夫 他訳
(法政大学出版局) | 現代自然科学と唯物弁証法
岩崎允胤 (大月書店) |
| 権力論序説
渡辺一衛 (太平出版) | 生化学入門
山科郁夫 (広川書店) |
| サイクリング事典
鳥山新一 (べりかん社) | Elements of Organic Chemistry.
By. Richard. J.H. (好学社) |
| 会計と社会
黒沢 清 (中央経済社) | 天文台日記
石田五郎 (筑摩書房) |
| 戦争中の暮らしの記録
暮らしの手帖編集部編
(暮らしの手帖社) | 民法講義 5 (4)
我妻 栄 (岩波書店) |
| 西田幾多郎全集 全19巻
西田幾多郎 (岩波書店) | 現代日本映画論大系 1-6
(冬樹社) |
| 志賀直哉全集 1, 2, 5, 6.
志賀直哉 (岩波書店) | 管球アンプの製作 (上)
上杉佳郎 (誠文堂新光社) |
| 正気の社会
E. フロム, 加藤正明 他訳
(社会思想社) | ガリレオ裁判
サンティリャーナ 著 武谷三男 監修
(岩波書店) |
| マルクス主義と自由
森 信成 (合同出版) | 電気事業の現状 昭48年度
(通産省公益事業局) |
| 星の構造
長田純一 (講談社) | 日本のジレンマ (上)
エマソン 岩崎俊夫 訳 (時事通信社) |
| 民法 1~7
(有斐閣) | 陣笠の効用
辻 清明 (日本評論社) |
| 北欧神話と伝説
山室 静 訳 (新潮社) | 死と愛 (フランクル著作集 2)
フランクル 霜山徳爾 訳 (みすず書房) |
| 現代詩論 2, 5, 6, 10.
鮎川信夫 他 (晶文社) | コンパイラ入門
小田一博 (日本評論社) |
| 知る権利
千葉雄次郎 (東大出版会) | 経営経済学
上林貞治郎 (大月書店) |
| 世界 I C 規格・回路ハンドブック
原 留美吉 (誠文堂新光社) | 現代の天体物理学 (科学技術選書)
ヴェ・ギンズブルグ 小平柱一 他訳
(東京図書) |
| 日本型経営の源流
森川英正 (東洋経済新報社) | 新マルクス経済学講座
島 恭彦 他編 (有斐閣) |
| 開かれた哲学と開かれた社会
M. コンフォース (紀伊国屋書店) | 子どもの国からの挨拶
今江祥智 (晶文社) |

教官著作寄贈図書

一本館一

- 斉藤晴男 (教・教授)
 松田 久 (教・教授)
 砂川重信 (教・教授)
 物理学への道 (下) 大塚穎三 他共同
 執筆 (学術図書出版社 昭48)
 西田春彦 (人・教授)
 計量社会学入門 (数学ライブラリー 33)
 (森北出版株式会社 昭48)

一中之島分館一

- 和田 博 (医・教授)
 医化学実験法講座 2a・2b
 (中山書店 昭46-47)
 小野啓郎 (医・教授)
 骨の生理学 (医歯薬出版 昭48)
 七川徹次 (医・助教授)
 リウマチ病 II (永井書店 昭48)
 近藤宗平 (医・教授)
 分子放射線生物学 (東大出版会 昭47)

一吹田分館一

- 樹下行三 (工・助教授)
 オートマトン入門 (朝倉書店 昭48)
 毛利正光 (工・教授)
 人間と環境：21世紀社会への道 中部開発
 センター編 (大成出版社 昭48)

一薬学部分館一

- 池田正澄 (薬・助教授)
 有機化合物のマススペクトル Herbert
 Budzikiewicz他著, 中川有造, 池田正澄訳
 (丸善 昭48)

一理学部分館一

- 村田一郎 (理・教授)
 有機反応機構の問題と解法
 (広川書店 昭48)
 山中健生 (理・助教授)
 チトクロムの研究・実験を中心に
 (東大出版会 昭48)

一基礎工学部図書室一

- 塚原仲晃 (基工・教授)
 数理神経生物学 J.S. グリフィス 著
 塚原仲晃, 佐藤俊輔 共訳
 (産業図書 昭48)

一産研図書室一

- 湯川泰秀 (産研・教授)
 有機化学〔I〕 3. ed. Hendrickson, J.B.
 他著 湯川泰秀他共訳 (廣川書店 昭48)
 清水謙一 (産研・教授)
 大塚和弘 (産研・助教授)
 固体の物理 2. ed. 上, 下 Wert, C.A. 他著
 清水謙一, 大塚和弘 共訳 (丸善 昭48)

本館受入参考図書

6～9月に受入済みのもの

- 中日大辞典 (中日大辞典刊行会)
 立体 フランス文学 (朝日出版社)
 行政管理用語事典 (帝国地方行政学会)
 仏像図典 (吉川弘文館)
 会社法律大事典 (第一法規)
 京都大学人文科学研究所漢籍分類目録
 (京都大学人文科学研究所)
 内閣文庫洋書分類目録, 英書篇上
 (国立公文書館内閣文庫)
 会計学辞典 (丸善)
 海外市場白書 世界貿易の現状 ('73)
 (日本貿易振興会)
 ARCレポート総集 (フィリッピン, ポルト
 ガル, スペイン) (世界経済情報サービス)
 労働市場便覧 昭47 (労働省職業安定局)
 高分子辞典 (朝倉書店)
 20世紀 英米文学ハンドブック (南雲堂)
 大阪経済史料集成 (第3巻)
 (大阪商工会議所)
 総理府統計局百年史資料集成 (第1巻)
 (総理府統計局)

消費者保護関係法令集 (帝国地方行政学会)	経済新語辞典 ('73)	(日本経済新聞社)
日本標準産業分類 (全国統計協会連合会)	経済要覧 ('73)	(大蔵省印刷局)
明治期刊行図書目録 (第3巻)	気象年鑑 ('73)	()
(国会国会図書館)	防衛年鑑 ('73)	(防衛年鑑刊行会)
学制百年史 (記述編, 資料編)	出版年鑑 ('73)	(出版ニュース社)
(帝国地方行政学会)	地方財政白書 ('73)	(大蔵省印刷局)
体系労働判例事典 (上巻) (労務行政研究所)	教育心理学小辞典	(協同出版)
日中国交回復関係資料集	日本経済事典	(講談社)
(日中国交資料委員会)	神宮文庫漢籍善本解題	(神宮司庁)
経済学ガイドブック (東洋経済新報社)	コンテナリゼーション便覧	(日本海上コンテナ協会)
医学略語辞典 (金原出版)	日本叢書索引	(名著刊行会)
東南アジア関係資料総合目録 (第1-5)	世界科学の事典 (第1-6巻)	(理論社)
(アジア経済研究所)	現代日本文芸総覧 (上, 中, 下)	(明治文献)
特殊法人総覧 ('72) (行政管理庁)		
林業白書 ('72) (日本林業協会)		

第2回 漢籍図書担当職員講習会について

文部省、京都大学人文科学研究所附属東洋学文献センター共催のもとで、昨年に引継ぎ、本年度も京都大学で開催され、名古屋以西の大学図書館等から35名の受講者が集り、7月2日から1週間実習を混じえた講義が行なわれた。

漢籍の定義(吉川幸次郎)「中国人を著者とする書物。したがって中国語で書かれていることを原則とする。」で示されるように、きわめて簡単明瞭なのである。しかしながら、ここで考えねばならないことは、あえて「漢籍図書担当職員」というテーマで講習会を開らねばならないところに、大学図書館の問題の一面があるように思える。また、研究者の多くが、図書館職員に漢籍図書について正しい認識をもってもらいたいという期待がうかがえた。正しい認識というのは、漢籍図書についてはそれに適した整理方法があること、またそれが、中国語で書かれている文献ということで、特別扱いはされるほどに難しいものではないということであったと思う。

今日、業務の標準化ということがいわれ、図書館業務においても、国会カード、L.C.カードを利用することによって目録、整理業務の簡素化、迅速化をはかりつつある。漢籍図書についてはすでに、「京都大学人文科学研究所漢籍目録、昭38年」「内閣文庫漢籍分類目録、昭46」「東京大学東洋文化研究所目録、昭48」等、四庫分類による大きな目録が刊行され、全国の研究者の2次資料として十二分に活用されている。冊子体目録は、いうまでもなく、移動性があり、個々に所持できるという最大の利点があり、極論すれば、図書を所蔵しているのと同じ効果を発揚する。そのような意味では、漢籍という、特定の分野のもの、それに加え特定の分類を使用するうえにおいてはより有効である。講義の中でも述べられたことであるが、漢籍図書の目録、整理に取り組むならば、容易に達成できる基礎は先に掲げた分類目録に従うことによって十分に可能である。

こと漢籍図書に関する限り、それに最も適した、四庫分類というものがあり、それを採用す

べきであって、NDC等を用い、あえて混乱をまねく必要はないであろう。目録作成に関する限り、権威ある、分類目録に従っている限りまちがいわないわけで、最も合理的な方法であり、それを否定する理由は見当たらない。いずれの機関（文献）を利用してても分類体系が同じであるということは研究者の求めるところでもある。

一週間の講義を受けて感じられたことは、漢籍図書の目録作成、整理をするうえにおいて、現在の我々の持っている図書館の技術をもってして十分に可能であり、もっと努力を払う必要があるのではないかということである。また、特定の研究室、研究者まかせの漢籍図書から脱皮しなければならない。

学術文献の相互利用も、学術雑誌に関する限り、ほぼ定着した感がある。しかしこれももとを正せば、文部省の編纂の総合目録、個々の大学、協会等目録の刊行によるところが大である。そのような見地から考えた場合、一刻も早くそれぞれの目録を刊行し、相互利用の円滑化をはかる必要がある。

松浦 正（吹田分館運用掛長）

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

——国立大学図書館協議会—第20回——

48.6.12(火)～13(水) 於 新潟大学附属図書館

本学出席者 図書館長 事務部長 閲覧課長

6月12日(火)から13日(水)までの2日間にわたり、新潟大学附属図書館で約170名が参加して開催された。総会における主な報告・協議事項は、次のとおりである。

1. 岸本奨励賞の報告 大阪大学附属図書館機械化ワーキング・グループの「図書館業務機械化」の他3件の受賞が報告された。
2. 研究集会報告 ①相互協力による総合的収書計画（主査：一橋大） ③大学図書館予算のあり方（主査：九州大） ③学生用図書について（主査：岩手大）の報告があった。
3. 各調査研究班報告 ①司書職制度 ②図書館機械化 ③図書館建築 ④参考図書 について、各調査研究班からそれぞれ報告が行なわれ、質疑応答があった。
4. 分科会 全体会議協議 予算、人事、奉仕の3分科会で各地区提出の協議題を協議し全体会議でとりまとめ、要望書を文部大臣に提出することとした。主な要望事項 ①図書館維持費、図書購入費の増額について ②図書館職員の増について ③図書館職員の待遇改善について ④図書館事務機構の整備について ⑤職員研修費の増額について ⑥図書館機械化について ⑦国立大学図書館改善要項の改訂について ⑧保存図書館の設置について ⑨図書館情報学総合研究機関の設置について ⑩その他

次期総会は、北海道地区で北大が当番となって開催する。

——国立七大学附属図書館協議会—第46次——

48.9.21(金) 9:00～16:00 於 札幌（石狩会館）

本学出席者 事務部長 整理課長

第47次（昭和48年度）国立七大学附属図書館協議会は、北海道大学を会場として9月21日に開催された。協議会に先だって前日の20日に第6回部課長会議が開かれ、①課長補佐定数の増加について ②文献複写料金の改訂について ③外国雑誌の価格設定について ④文献複写

業務のあり方について ⑤本協議会のあり方について ⑥非常勤職員について ⑦変動相場制下における洋書の購入に関する問題点とその対策について ⑧文献複写業務受託の地方別分担について討議が行なわれた。

協議会は、当番館の北大福島館長が議長となり、次の協議題について終始熱心に協議が行なわれた。なお、本協議会として次の要望事項を採択し、関係省庁に要望することを決定した。

〔協議題〕 1. 文部省の大学図書館改善協議会について 2. 中央図書館の自然科学部門に対する役割について 3. 図書価格の上昇にともなう収書上の問題点について 4. 地域協力活動について 5. 図書館に対する学生の諸要求について 6. 時間外開館について 7. 文献複写業務に関連する調査担当掛員の増について

〔要望事項〕 1. 時間外開館に従事する大学図書館員の優遇措置について 2. 文献複写業務に関連する調査担当掛員の増について

——中之島分館運営委員会—第45回——

48.8.8(水) 14:00~15:00 於 分館会議室

1. 昭和48年度運営費の予算について ①ゼロックスの収入が前年度より下ったので、運営費への繰入れができない。②今年度より部局分担金の算出方法が変わったので、部局よりは、前年度の半額程度を徴収することになり、半額+10%とした。③支出については、光熱水料、通信費、保守料、警備料等、必要以外は大幅におさえた。特に製本費の削減について、委員より異議があり、部局分担金を増やしてでも補正予算を組むことになり、分館長名で各部長に依頼する。

——工学部図書委員会——

48.6.27(水) 14:00~15:30 於 吹田分館会議室

①48年度指定図書について、各講義担当者からの選定された結果を、選定小委員会より説明原案通り承認された。②47年度決算ならびに48年度予算案、いずれも原案通り承認された。図書館整備費として、学生用の電卓、テープレコーダー、視聴覚室にOHP（オーバーヘッドプロジェクター）を整備することになった。その他図書資料の整備の方針について協議された。

——基礎工学部図書委員会—第24, 25回——

第25回 48.9.13(木) 13:30~15:00 於 中会議室

第26回 48.9.27(木) 13:30~15:30 於 中会議室

①昭和49年度購入雑誌について：(第25回)—新規購入に関しては次の点が討議された。(イ)新刊雑誌は内容が把握されているか。(ロ)共通性があるか。(ハ)他部局で所蔵しているか。

(第26回)—(イ)検討した結果、11点の雑誌を新規購入することになった。(ロ)どの学科にも必要性が認められない雑誌は中止する。②図書室の建物中央部への移転は現状ではむずかしい。

分館だより

——中之島分館——

書庫内配架の移動のため、8月1日より4日まで閉館した。雑誌の配架が、1965年(昭40)以後は3階へ、1964年(昭39)以前は、2階・中2階と変わった。

昇任	事務官	岩崎 悦男	48.5.21付	整理課会計掛用度主任に昇任
	〃	山口賀代子	〃	中之島分館受入掛資料収集主任に昇任
	〃	宮岸 朝子	〃	〃 運用掛閲覧主任に昇任
	〃	門田 泰典	48.9.1付	閲覧課参考掛長に昇任
	〃	河崎 戎三	〃	閲覧課閲覧第二掛長に昇任
併任	〃	(基)赤坂 信子	〃	附属図書館閲覧課に併任
	〃	(〃)早瀬 鶴子	〃	〃 〃 〃
	〃	(〃)和田山祥子	〃	〃 〃 〃
	〃	(〃)廣瀬 泰子	〃	〃 〃 〃
	〃	(〃)林 治代	〃	〃 〃 〃
	〃	(工)岡田 正紀	〃	〃 吹田分館に併任
	〃	(〃)平松 久子	〃	〃 〃 〃
	〃	(〃)小谷 明	〃	〃 〃 〃
	技 官	(〃)岩本 悟	〃	〃 〃 〃
	事務官	(産)小山 靖裕	〃	〃 〃 〃
〃	(〃)一柳 吉子	〃	〃 〃 〃	
〃	(〃)木内英津子	〃	〃 〃 〃	
配置換	〃	毛利 令子	48.5.21付	中之島分館目録掛目録編成主任に配置換
	〃	清水 義子	〃	吹田分館整理掛目録主任に 〃
参考掛長	木本 明男	48.9.1付	閲覧課閲覧第一掛長に配置換	
閲覧掛長	松浦 正	〃	吹田分館運用掛長に 〃	
事務官	篠田 恭子	〃	閲覧課閲覧第一掛出納主任に配置換	
採用 辞職	事務補佐員	竹中 幸子	48.7.27付	閲覧課閲覧掛
	〃	風野 勝子	48.7.15付	〃 〃

年末年始の休館のおしらせ

年末年始の休館および時間外開館休止の期間は下記のとおりです。

休館期間

48年12月28日（金）— 49年1月5日（土）

時間外開館休止期間

48年12月25日（火）— 49年1月7日（月）